

2014年度

環境活動レポート

(2014年10月1日～2015年 9月30日)



2013年4月 工場屋根に設置した太陽光パネル

作成日：2015年 12月 29日

ミマスクリーンケア株式会社
つくば工場



目 次

	ページ
(はじめに)	3
1. 環境方針	4
2. 組織の概要と対象範囲	5
3. 実施体制	6
4. 環境目標とその実績	7～8
5. 主要な環境活動の内容と取り組み結果及び評価	9～10
6. 環境関連法規等の遵守状況	10
7. 代表者による全体の評価と見直しの結果	10
8. 環境に配慮した取り組みについて	11～12



(はじめに)

クリーンな生活と環境を願って

私どもは、先代が戦後の混乱の中から業を起こして、せんたく石けんを発売以来、一貫して清潔な暮らしに奉仕することを使命として製品づくりに専念してまいりました。今後も、私どもの社名ミマスCLEAN CAREの通り、「みらい」「まごころ」「スマイル」を合言葉に、幅広い製品ラインを通して、みなさまのクリーンな生活や環境づくりのお役に立つよう、会社内外の英知を集めて、優れた製品づくりを目指してまいりますので、何卒、一層にご愛顧を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

代表取締役 稲岡 幸久

会社概要

商 号	ミマスクリーンケア株式会社
設 立	昭和32年2月8日
資 本 金	1200万円
代表取締役	稲岡 幸久
事業内容	各種洗剤、化粧品の製造販売
年間売上高	21億円

沿革

昭和25年12月	東京都葛飾区上平井町1950番地において阿部六喜千個人にて阿部油脂工業所を創立、固形石けんの製造に着手
昭和30年4月	現在地に工場を建設移転、固形の洗濯石鹸を本格製造開始
昭和53年12月	他社に先駆け、無リン洗剤の開発に成功、発売開始
昭和62年10月	社長阿部六喜千 退任し会長に就任、専務阿部光弘 社長に就任
昭和62年12月	ミマスクリーンケア株式会社に社名変更
昭和63年5月	会長阿部六喜千 勲五等双光旭日賞受賞
平成元年4月	つくば工場第一期工事完成、操業開始
平成13年7月	つくば工場 ISO9001認証登録
平成20年2月	生産量増加に伴い、つくば工場の敷地面積2042㎡拡張
平成25年11月	社長 阿部光弘 黄綬褒章受章
平成25年11月	社長阿部光弘 退任し会長に就任、専務稲岡幸久 社長に就任
平成27年4月	本社工場 立替



環境にやさしい緑の魔女シリーズ



1. 環境方針

ミマスクリーンケア株式会社 つくば工場 環 境 方 針

■ 基本理念

私たちミマスクリーンケアは「快適な生活と大切な地球環境の両立」を基本理念とし、あらゆる事業活動において積極的に地球環境の保全に配慮いたします。

■ 基本方針

1. 環境に関する法規等を遵守する
2. 事業活動に伴う二酸化炭素の排出量削減を推進する
3. 水資源使用量の削減を推進する
4. 産業廃棄物の排出量削減とリサイクルを推進する
5. 物品のグリーン購入を推進する
6. 全従業員が環境に対し高い意識を持つよう教育する

2012年 5月 2日改訂

ミマスクリーンケア株式会社
代表取締役 稲岡幸久



2. 組織の概要と対象範囲

(1) 名称及び代表者名

ミマスクリーンケア株式会社
代表取締役社長 稲岡 幸久

(2) 所在地

本社：〒124-0025
東京都葛飾区西新小岩 4丁目12-11
TEL:03-3691-1398 FAX:03-3694-0316
つくば工場：〒301-0852
茨城県龍ヶ崎市向陽台 4丁目 1番地
TEL:0297-64-7456 FAX:0296-64-7457
<http://mimasu-cc.co.jp>

(3) 事業内容

洗剤の製造販売、受託製造
化粧品・医薬部外品の製造販売、受託製造

(4) 事業規模 (年度：当年10月～翌年9月)

事業規模	単位	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度
売上高	百万円	2,273	2,186	2,071	2,090	2,112
従業員	人	89	87	82	82	82

(つくば工場)

事業規模	単位	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度
総生産量	t	16,178	16,907	17,963	21,052	22,523
内液体製品	t	12,702	13,370	14,653	17,326	18,668
固形製品	t	1,784	1,891	1,832	1,570	1,609
粉体製品	t	1,693	1,646	1,477	2,156	2,246

敷地面積 16718m²

工場面積 5797m²

駐車場面積 2437m²

(5) 対象範囲

つくば工場

代表者 代表取締役 稲岡 幸久

従業員数 社員 42人 (その他 15人)

(本社は数年後を目途に組み込みの予定)

(6) 環境管理責任者及び担当者

環境管理責任者 品質管理部長 安友 純

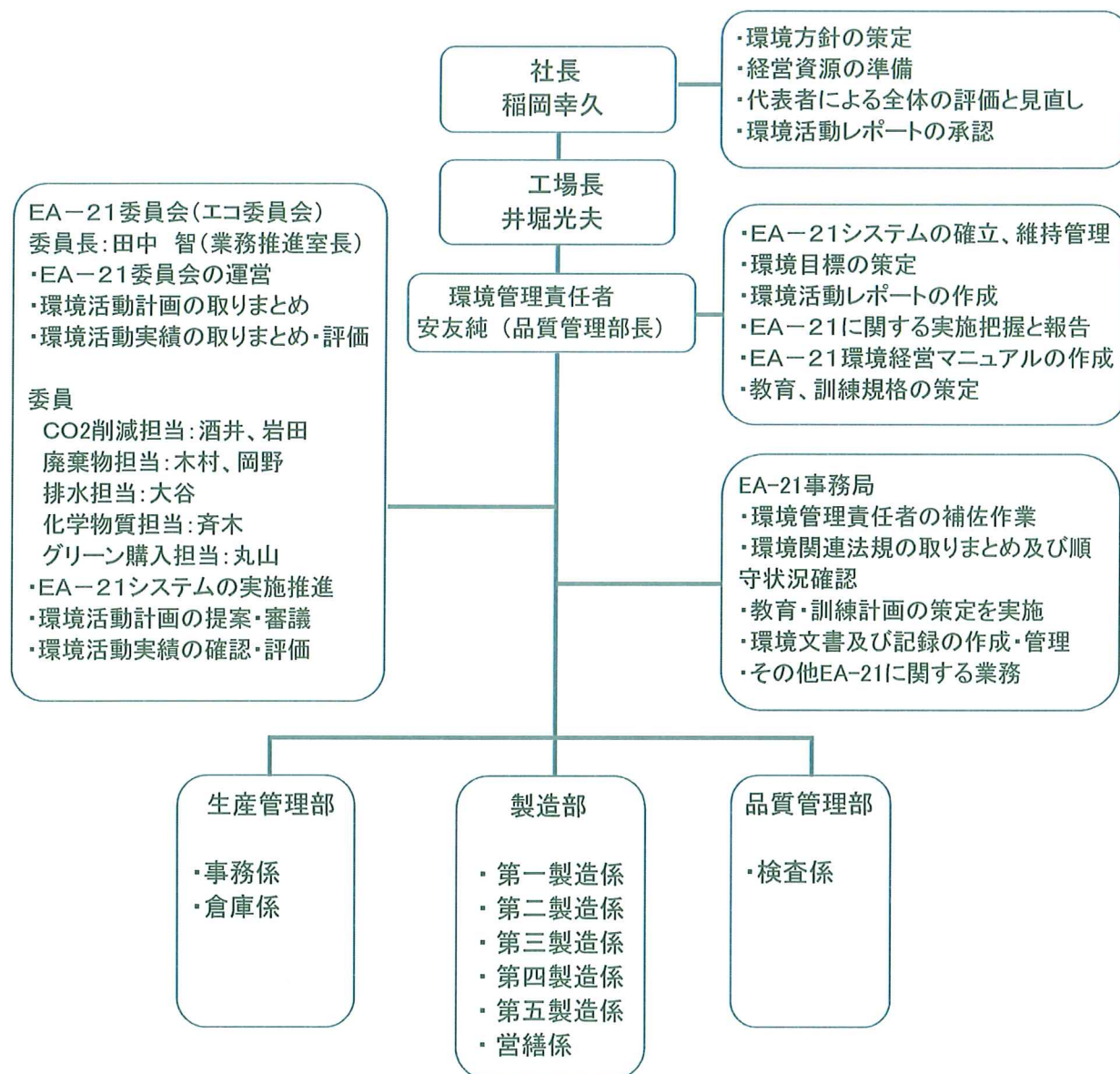
事務局 品質管理部

連絡先 TEL:0297-64-7456



3. 実施体制

ミマスクリーンケア(株) つくば工場 EA-21実施体制図及び役割・権限・責任表



各部署責任者

- ・環境方針、環境目標、環境委員会での協議内容・決定事項を全従業員へ周知する。
- ・自部署に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告
- ・自部署の問題点の発見、是正、予防処置の実施
- ・環境活動に関する教育訓練を実施する
- ・緊急事態での対応を実施する

全従業員

- ・環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚
- ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加



4. 環境目標とその実績

環境目標及び環境活動計画

(年度: 当年10月～翌年9月)

環境目標項目			2011年度 実績	2012年度 実績	2013年度 実績	2014年度 実績	今年度の 目標（% 削減率:対 前年比）	2014年実 績（削減率 %）	2015年度 目標（対前 年比）
Ⅰ 二酸化 炭素排出 量の削減	電力量の削減 KWH		585,108	516,678	616,845	646,228	2	▲4.8	2%削減
	電力量の削減 CO2排出量(kg)		219,416	193,754	231,317	242,336			
	ガス量の削減 m3		96,074	97,537	129,646	116,505	2	10.1	2%削減
	ガス量の削減 CO2排出量(kg)		202,562	205,650	273,350	245,643			
	石油系燃料の削減 L (ガソリン)		23,599	21,931	18,884	17,363	2	8.1	2%削減
	石油系燃料の削減(ガソリ ン) CO2排出量(kg)		54,790	50,916	43,842	40,311			
	石油系燃料の削減 L (軽油)		2,899	2,965	4,357	3,072	2	29.5	2%削減
	石油系燃料の削減(軽油) CO2排出量(kg)		7,608	7,781	11,434	8,062			
	石油系燃料の削減 L (灯油)		11,887	9,296	11,793	32,093	2	▲272	2%削減
	石油系燃料の削減(灯油) CO2排出量(kg)		29,621	23,165	29,387	79,974			
	総CO2排出量(kg)		513,997	481,267	589,330	616,326			
	太陽光発電によるCO2 削減量(kg)			14,620 (6ヵ月間)	25,323	24,381			
Ⅱ 排水量の 削減	排水量の削減(m3)		5,770	6,279	9,508	14,852	1	▲56.2	1%削減
Ⅲ 廃棄物 の抑制と管 理	一般廃棄物(kg)		3,326	3,023	3,246	6,225	2	▲91.8	2%削減
	産業 廃棄物	混合廃棄物(kg)	5,820	3,800	7,590	8,510	2	▲12.1	2%削減
		汚泥(kg)	29,800	21,640	23,680	42,550	2	▲79.7	2%削減
		木製パレット(kg)	12,120	11,350	17,470	7,520	2	57.0	2%削減
	リサ イクル	廃プラ再生量(kg)	19,675	14,130	20,010	14,220	－	28.9	－
		古紙・段ボール再 生量(kg)	41,750	41,080	51,421	48,590	－	5.5	－
化学物質の適正管理									
グリーン購入の推進									
環境負荷低減に資する製品の製造(t)			352	407	790	887	RSPO認証取得品、緑の魔女シリーズ		

※購入電力の排出係数: 0.375(kg-CO2/kWh)

※2014年度の灯油の大幅な増加は、灯油ボイラーの新規稼働による。

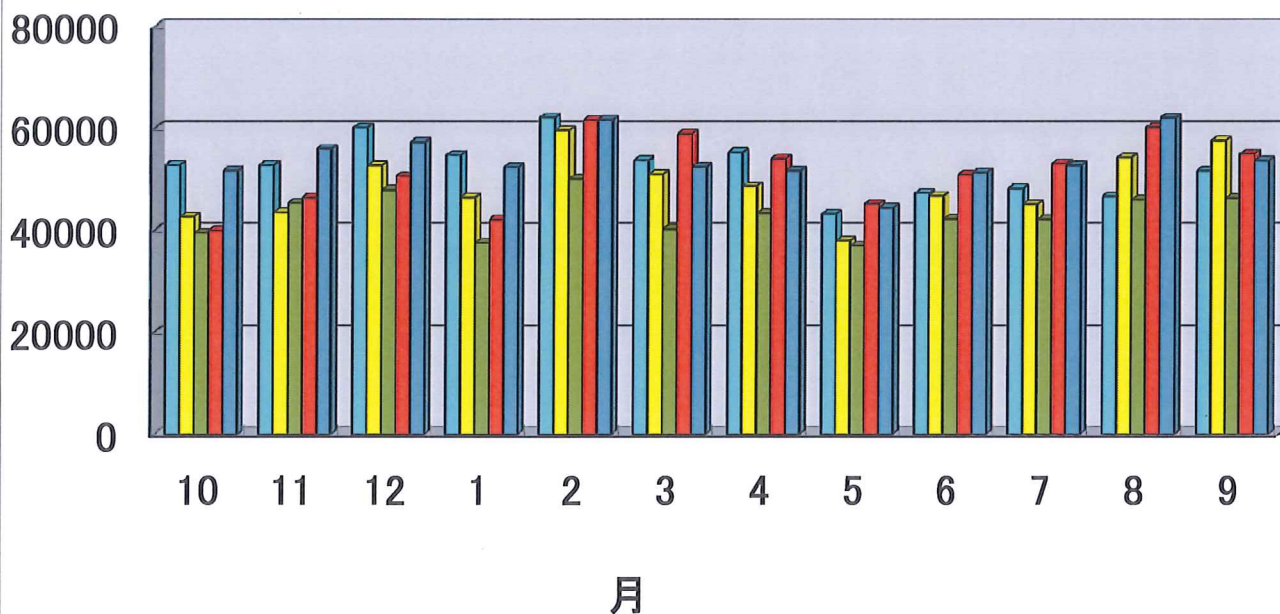
※2011、2014年産業廃棄物には、本社工場解体時の廃棄物が含まれる。



KW

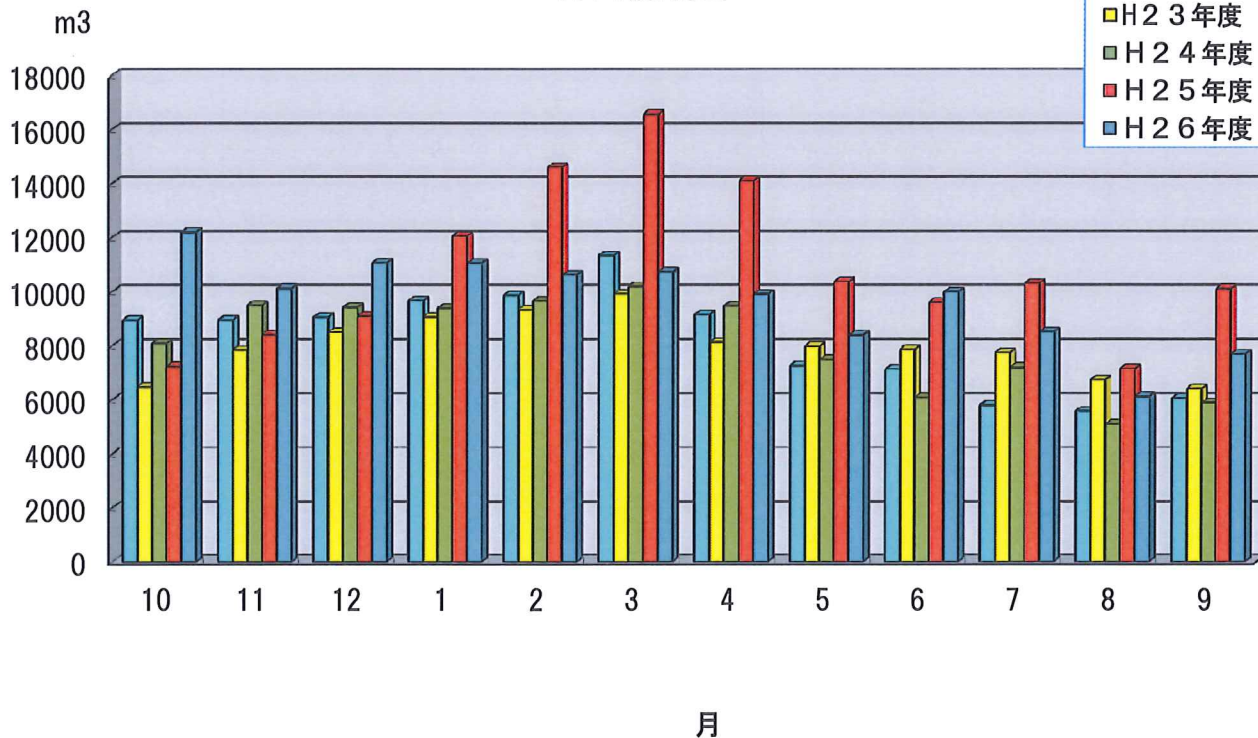
電力使用量

- H22年度電力(KWH)
- H23年度電力(KWH)
- H24年度電力(KWH)
- H25年度電力(KWH)
- H26年度電力(KWH)



ガス使用量

- H 2 2 年度
- H 2 3 年度
- H 2 4 年度
- H 2 5 年度
- H 2 6 年度



5. 主要な環境活動計画の内容と取組結果及び評価

①. 主な環境活動計画の内容・活動・評価

活動項目		活動内容	活動状況	評価	
電気使用量の削減	1	空調温度管理の徹底	夏季28℃・冬季20℃、エアコン操作部分に表示	本社工場建て替えによる生産量が大幅に増加した影響で、電力使用量は増加しているが、生産量の増加割合からすると削減することが出来た。 一方、製造量増加によって残業・休日製造が増加している。	○
	2	節電啓蒙表示による意識付け	クールビズ等のポスターの活用		
	3	未使用時の照明消灯の徹底	環境パトロールの推進により効果を上げる		
	4	残業時間の削減	残業ゼロを出来るだけ継続できるように取り組む		
	5	昼休み時の節電の徹底	消灯、機械類の停止		
化石燃料使用量の削減	1	省エネ運転の徹底	朝礼等での呼びかけ	灯油の大幅増は新規灯油ボイラーの稼働によるもので、生産量増加にも関わらず他の項目では削減することが出来た。	○
	2	石油ヒーターの効率的使用	大型ヒーターを減らし中型・小型ヒーターに交換		
	3	防寒ズボンの支給	防寒ズボンの支給を継続		
	4	ボイラーの効率的使用	配合釜の効率使用・配管の非断熱箇所の解消		
排水量の削減	1	配合釜洗浄方法の見直し	高圧洗浄機の一部導入	生産量増加・品質上の問題等で、削減が見られていない。	×
	2	配合釜の効率利用	出来るだけまとめて配合し、配合回数を減らす。		
廃棄物の削減、リサイクルの活用	1	分別の徹底	分別場所の整備、朝礼等での呼びかけ	朝礼時或いは会議等での呼びかけ等により分別の徹底が進み、着実に効果は上がっている。 (増加分は本社工場解体時のものが含まれる)	△
	2	コピー用紙の削減	裏紙の利用		
	3	リサイクルの推進	分別の徹底、朝礼等での呼びかけ		
	4	落葉の堆肥化による削減	活動を継続		
その他	1	化学物質の適正管理	P R T R法を遵守する	今年度初めて危険物取扱の講習を実施した。 防災訓練は繁忙により未実施。	△
	2	化学物質の適正使用	危険物取扱の講習を実施した		
	3	劇物を対象とした防災訓練の実施	予定の防災訓練は実施できなかった		
	4	グリーン購入	出来るだけエコ製品を購入する	取り組みが徐々に進んでいる。	○



② 主要な取り組みの評価

昨年1月からの本社工場建て替えに伴う本社製造製品のつくば工場での製造のため、それ以降製造に追われる状況が継続し、新たな取り組みを開始する事が出来なかった。その為、活動内容は昨年までの取り組みを継続することが中心となったが、全般に製造数量の増加に伴う電力・化石燃料の使用量は、CO₂で換算すると製造量増加分より低く抑えられている。

本年5月以降、本社工場の稼働開始したが、製造品目の減少は少なく、製造量も減少していない。グリーン購入は事務用品を主に取り組みが進んでいるが、他の品物にも拡大したい。灯油使用量の増加は新たな灯油ボイラーの使用開始によるが、その分ガスボイラー使用減によりガス使用量が低下している。

③ その他の取り組み内容と結果

(1) 教育・訓練の実施

- ・勉強会の実施（危険物取扱）。
- ・本社製造製品の製造に伴う継続的繁忙により、防災訓練は実施出来なかった。

(2) 環境コミュニケーションの実施

- ・EA21（エコ）委員会の開催
- ・朝礼（全体朝礼、職域毎の朝礼）、掲示板の活用

6. 環境関連法規等の遵守状況

(1) 遵守状況の確認及び評価

当工場に適用される環境関連法規等の遵守状況については、適正に行われている事を確認致しました。

(2) 違反、訴訟等の有無

地域住民や関係機関等からの苦情や指摘及び訴訟につきましては、過去3年間にわたり有りませんでした。

7. 代表者による全体の評価と見直しの結果

本年度は、途中まで本社工場の建て替えによる製造分増加があったが、本社工場稼働後も製造量はあまり減少していない。本社工場製品の増加によりこの間繁忙により新たな活動を進められなかった。今後は体制を整えた上で、新たな取り組みを進めて行きたい。

個別では、廃棄物が本社工場建て替え時のものをつくば工場処理した事で大幅に増加した。CO₂関係は製造量の増加分を加味すると有る程度低く抑えられている。引き続き社員の意識向上により、より活動を進めるようにしたい。



8. 環境に配慮した取り組みについて

① 太陽光パネルを設置(2013年4月より稼働)

設備概要

太陽電池モジュール:223W(単結晶)×224枚

発電容量:49.952kw

パワーコンディショナー:5.5kw×8台

設置:工場屋根 折板トタンに金具で直付け

屋根勾配約18度

この1年間の実績

太陽光発電量	65,015kwh
二酸化炭素削減量(kg)	24,381kg



② 地球にやさしい洗剤「緑の魔女」シリーズの販売拡大

弊社のユニークな商品である「緑の魔女」は、発売以来順調に販売が拡大し、今年度は大手通販での取り扱いが増え、昨年比7%の増加となりました。

「緑の魔女」シリーズの洗剤には、環境中に在る汚物などを分解する微生物の活動を活発にする成分が入っており、排水管のパイプクリーナーとして働きます。

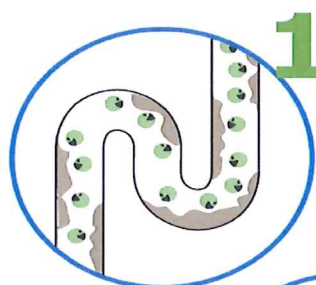
年度(会計年度)	2011	2012	2013	2014
緑の魔女シリーズ生産量 (2010年を100として)	81	99	258	293

ドイツ生まれの究極の洗剤
緑の魔女

緑の魔女は

パイプクリーナー

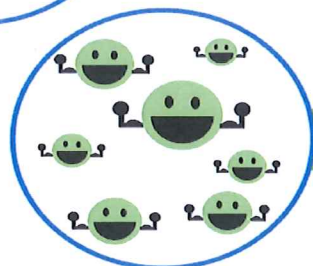
として働きます。



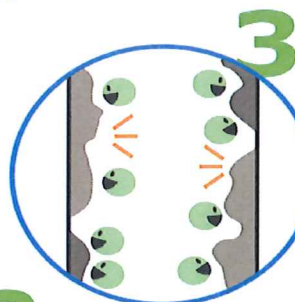
1

排水パイプの中には微生物が棲んでいます。

微生物はパイプのなかの汚れを食べて生きています。汚れの量が食べきれませんが、それ以上になると食べきれず、パイプのなかに汚れが残っていきます。微生物への援軍が必要です。



2



3

「緑の魔女」の応援で元気になる増えた微生物は汚れを食べていきます。汚れがどんどん無くなってパイプはきれいになります。つまり「緑の魔女・キッチン」は食器用洗剤のほかに、パイプクリーナーの働きもするわけです。この様に、排水の流れる先の環境をきれいにしていきます。

洗浄後、水で薄まった「緑の魔女」の排水が触れると特許成分グロースファクターが微生物の栄養となって微生物を元気にして急速に増やします。(ヒトの腸内菌を元気にするヨーグルトのような働きをします。)



③ RSPO認証を取得

RSPO(Roundtable on Sustainable Palm Oil=持続可能なパーム油のための円卓会議)認証を取得。このRSPOは、世界各地で行われているパーム油の生産が、熱帯林の保全や、そこに生息する生物の多様性、森林に依存する人々の暮らしに深刻な悪影響を及ぼすことのないようにするために、2004年に設立され、弊社は2010年8月31日に加入しました。

この認証のため、毎年審査を受け、本制度の維持・発展に寄与するため、社員教育等を行っています。この制度により作られた製品の生産量は、毎年増加しています。

④ 地域社会の一員としての取り組み

(NPO法人バイオライフの活動を支援)

遊休農地の有効活用、地元産食用油の地産地消、循環型社会の構築を目指して茨城県南部を中心に活動しているNPOの活動を支援しています。

